# 血液免疫内科学

## １　臨床実習の概要

血液・免疫内科学実習では血液疾患および免疫膠原病を持つ患者の診療に積極的に参加し、内科一般と主に血液疾患および免疫膠原病領域の主要な病態、診断、治療を理解し、患者とチームメンバーを尊重した血液疾患および免疫膠原病領域の疾患に関わる医療を学ぶ。ユニット講義の学習を発展させ、臨床実習だけではなく、関連のユニット講義の到達目標も合わせて達成するように進める。

## ２　金沢医科大学の到達目標（アウトカム）

①豊かな人間性と倫理観
②生涯学習
③医学知識と技能
④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
⑥科学的態度・探求心

## ３　臨床実習の到達目標（アウトカム）：

**※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。**

- 担当患者ならびに関わる多職種と良好な人間関係をつくることができる（①④）
- 血液疾患および免疫膠原病領域の疾患を通して疾患を探究する方法論（文献検索と理解など）を実践できる（②③⑥）
- 血液疾患および免疫膠原病領域の疾患の症例を自ら学び、まとめ、症例提示をすることができる（③⑥）
- 血液疾患および免疫膠原病領域の疾患の患者を通して…
  - 医療面接、身体診察など基本的な情報収集ができる（③）
  - 収集した情報から臨床問題の提示、主要な鑑別診断を挙げることができる（③）
  - 臨床的諸問題に対して初期計画（診断、治療、教育）を立案できる（③）
  - 主要な症候・疾患における病態生理、組織学的・臨床的特徴、診断基準を説明できる（③）
  - 主要な症候・疾患における必要な検査、治療、合併症、予後の要点を説明できる（③）
  - 基本的な検査を実施し、結果を解釈できる（③）

- 血液疾患および免疫膠原病の医療に関わる…
  - 多職種・チーム医療に学生として参加できる（④）
  - 社会制度（厚生医療など）を説明できる（④⑤）

**※主要な疾患、症候、検査、治療**

**症候**

貧血、易感染性、出血傾向、発熱、リンパ節腫大、肝脾腫、関節炎、皮疹、筋炎、口腔乾燥・眼乾燥、

**疾患・治療**

貧血（鉄欠乏性貧血、慢性炎症に伴う貧血、溶血性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血）、急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄増殖性疾患、骨髄異形成症候群、慢性リンパ性白血病、悪性リンパ腫（ホジキンリンパ腫、B および T/NK 細胞性リンパ腫）、多発性骨髄腫、アミロイドーシス、免疫性血小板減少性紫斑病、血栓性血小板減少性紫斑病・溶血性尿毒症症候群、血友病、von Willerbrand 病、後天性血友病（循環抗凝固因子）、

全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、皮膚筋炎・多発筋炎、強皮症、シェーグレン症候群、多発血管炎性肉芽腫症、結節性多発性動脈炎、好酸球性肉芽腫性血管炎、高安病、ANCA 関連血管炎、リウマチ性多発筋痛症、側頭動脈炎、成人 Still 病、IgG4 関連疾患、多中心性 Castleman 病、TAFRO 症候群

輸血療法、造血幹細胞移植、抗がん化学療法、ステロイド療法、免疫抑制療法、生物学的製剤療法、感染症対策、がん告知・インフォームドコンセント、ホスピス医療

**検査・医用機器など**

検尿、血液検査、骨髄穿刺・生検、リンパ節生検、口唇小唾液腺生検、筋生検、内視鏡検査、超音波検査、CT/MRI 検査、アイソトープ検査（$^{18}$FDG-PET/CT）、胸水・腹水穿刺、腰椎穿刺および髄腔内注射

## ４　学　習　方　略

- 学生は 1 人が患者 2～3 人を担当医の指導のもとで診療する。
- 学生は原則として 9：00～17：00 まで拘束される。その間、可能な限り担当医と行動を共にする。
- 患者の病歴聴取・診察・検査計画立案およびその評価に参加し、診断へのプロセスを実習するとともにそれに基づく治療計画立案と評価を行う。また基本的医行為の範囲内で受け持ち患者の診察・検査・治療などに関する医行為を実際に行う。

・ 教室の症例検討会に参加して、医局会で受け持ち患者について１例報告する。

## ５．事前事後学修について

（１）急性白血病
（２）悪性リンパ腫
（３）全身性エリテマトーデス
（４）関節リウマチ
（５）貧血

以上の診断と治療について予習しておく。

【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】

実習１日あたり　予習：６０分　　復習：６０分

## ６．課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

担当患者の提示や口頭試問については実習中のクルズス等で適宜フィードバックを行う。

## ７　評　　価

| 評価項目 | 評価割合 |
|---|---|
| 臨床実習出席（出席表） | 15% |
| 実習レポート（担当症例のレポート） | 20% |
| 担当患者症例提示 | 30% |
| 口頭試問 | 30% |
| その他 | 5% |
| 上記の評価項目を総合的に判定する。 | |

## ８　実習スケジュール

別項参照

## ９　教　育　担　当　者

実習責任者：正木 康史（血液・免疫内科学）

担当教員：　正木 康史、福島 俊洋、水田 秀一、山田 和徳、坂井 知之、河南 崇典、柳澤 浩人、上田 祐輔

## １０　参　考　図　書　・　文　献

購入すべき図書

１．新臨床内科学　第 10 版　医学書院

購入するとよい図書

１．内科診断学　第 3 版　医学書院

２．内科診断学　改訂第 17 版　南江堂

# 血 液 免 疫 内 科 学

週間スケジュール

| | 8:30 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 月 | 8:45～<br>カンファレンス<br>2週目プレゼン<br>(血免医局)<br>[代表者:正木] | オリエンテーション514教授室[正木] | 外来実習<br>(A9診)[水田] | | | 病棟実習<br>患者紹介・病歴聴取<br>[柳澤・上田] | | | | |
| 火 | | 病棟実習<br>カルテ確認・身体所見<br>[坂井・上田] | | | | 病棟実習<br>手技見学(骨髄穿刺・生検)<br>[坂井・上田] | | | | |
| 水 | | 外来実習(9:00～)<br>(A9診)[正木]<br>外来実習(9:30～)<br>(A10診)[水田] | | | | 病棟・外来実習<br>身体所見・手技見学(骨髄穿刺・輸血)<br>[柳澤・上田] | | | | |
| 木 | 8:30～入院患者カンファレンス/検鏡/文献紹介<br>プレゼンテーション<br>(医局)<br>[正木・水田・山田・坂井・河南・柳澤・上田] | | | | | 13:30～<br>病棟回診<br>(病院1号棟5階西)<br>代表・正木 | | 病棟実習<br>カルテ確認<br>[酒井・柳澤・上田] | | |
| 金 | | 国試対策講義 | | | | 病棟実習<br>カルテ確認・手技見学(骨髄穿刺・生検)<br>[柳澤・上田] | | | | |

**※第一週目の月曜日のみ**

第１日目の集合場所と時間：臨床研究棟5階　血液免疫内科学 医局（513号室）へ午前8:45集合
オリエンテーション：1週目のみ
月曜外来実習：1週目：オリエン終了後 2週目：9:30から

| 講義予定　日時は後日連絡します。※場所：医局 | |
|---|---|
| 国試対策講義 | 正木 |
| 血液疾患講義 | 福島 |
| 輸血・造血幹細胞移植 | 水田 |
| 国試対策講義 | 山田 |